

目次



Microsoft Edge is replacing Internet Explorer.....	3
Transition and timeline	4
Plan for deployment.....	5
Internet Explorer mode.....	6
Deploy and update	8
Configure	9
Resources.....	10
Appendix	
Channels overview.....	13
Microsoft Mechanics video series	14



Internet Explorer が Microsoft Edge に生まれ変わります



Internet Explorer モードを搭載した Microsoft Edge は、レガシ ブラウザーサポートがビルトインされており、正式に Internet Explorer 11 (2022 年 6 月 15 日にサポート終了) デスクトップアプリケーションの後継となります。

Microsoft Edge への移行は、お客様の組織に次のようなメリットをもたらします。

🔄 互換性の向上

デュアルエンジンの強みを活かすことができます。Chromium プロジェクトが最新の Web サイト向けの高い互換性を提供する一方で、Internet Explorer モードを使用すれば従来の Internet Explorer ベースの Web サイトとアプリケーションとの互換性を確保できます。

🔗 生産性の最大化

複数のブラウザを行き来することなく、1 つのブラウザで業務に不可欠な従来の Web サイトと外部サイトにアクセスできるようになります。

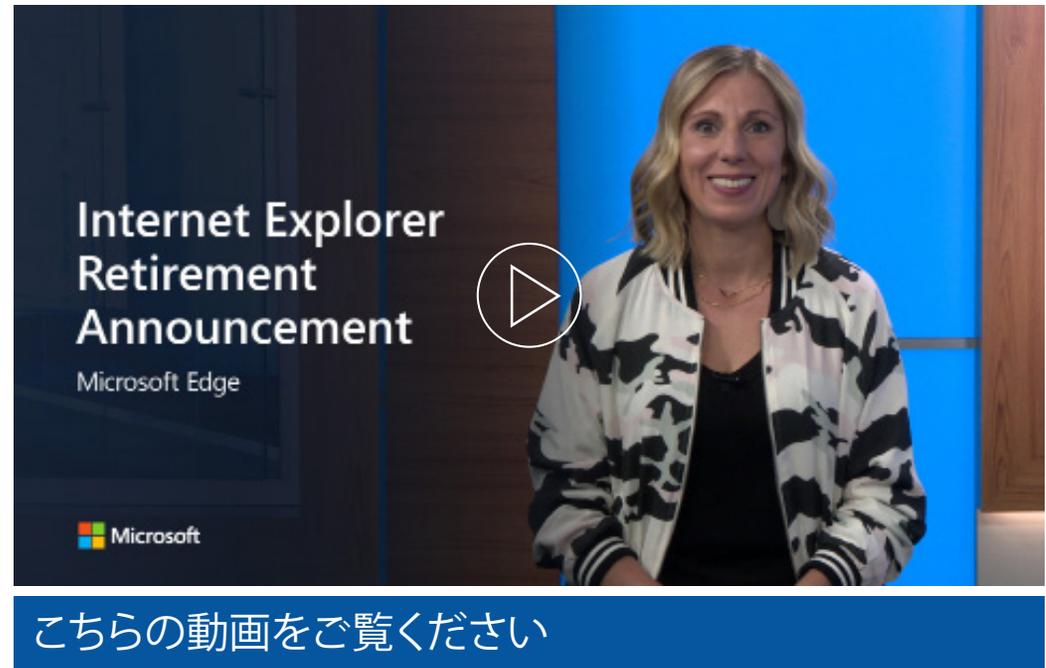
📄 価値の維持

Internet Explorer モードでは、Internet Explorer のサービス終了後も、引き続き Internet Explorer ベースのサイトを利用できます。平均で、1 つの企業に 1,678 個のレガシ サイトがあり、1 つのアプリケーションを最新化するのには 33.5 万ドルの費用がかかります。¹

🛡️ セキュリティの強化

Microsoft Edge では、Internet Explorer よりも頻繁にセキュリティ、および機能アップデートを行い、お客様の組織を保護します。[Windows 10 において、Google Chrome よりもセキュアなブラウザです。](#)

¹ Microsoft が委託した Forrester Consulting が 2021 年 2 月に 40 社の意思決定者を対象に実施したアンケート結果に基づきます。実際のコストは、複雑さ、場所、その他の要因により異なる場合があります。Forrester Consulting による委託調査 (2021 年 4 月実施)、The Total Economic Impact™ of Microsoft Edge 参照。



こちらの動画をご覧ください

今回のサービス終了が、提供中の Windows 10 LTSC および Server Internet Explorer 11 デスクトップアプリケーションに影響を与えることはありません。また、MSHTML (Trident) エンジンに影響を与えることもありません。今回の通知の対象のすべてのプラットフォーム、およびその他の技術的な質問については、[よくあるご質問](#)をご覧ください。

Microsoft Edge には、レガシ ブラウザーサポートがビルトインされており、Internet Explorer モードを搭載しています。Internet Explorer モードのサポートは、少なくとも 2029 年までの Windows クライアント、サーバー、IoT リリースのライフサイクルに従います。詳細については、こちらの[「ライフサイクル」のページ](#)をご覧ください。

この通知に関するブログ全文は、[こちら](#)でお読みいただけます。

移行の詳細とスケジュールについて



移行の計画を立てる

フェーズ 1: 計画

- 移行のプランとスケジュールを立てる
- 計画をシェアして、エグゼクティブの担当者向けメール 1 で、経営陣の同意を得る

フェーズ 2: セットアップと始動

- エグゼクティブの担当者向けメール 2 で、Internet Explorer モードを始動するための担当者を募る
- Microsoft Edge を導入して、Internet Explorer モードのセットアップを完了する

フェーズ 3: エンドユーザーへの通知

- エンドユーザー向けメール 1 で、組織全体の移行について通知する
- エグゼクティブの担当者向けメール 3 で、エグゼクティブの担当者に社内に一斉送信してもらう
- [Internet Explorer から Microsoft Edge へのリダイレクトポリシー](#)を設定して、エンドユーザーの移行をサポートする
- エンドユーザー向けメール 2 で、近々実施する移行について、ユーザーに周知する
- 社内で決定した終了日に Internet Explorer アプリケーションをブロックできるよう、[Internet Explorer 11 の無効化ポリシー](#)を設定する
- エンドユーザー向けメール 3 で、ユーザーにヒントを提供する

IE サービス終了準備キット

[IE サービス終了準備キット \(IE Retirement Adoption Kit\)](#) には、組織全体で Internet Explorer 11 から Internet Explorer モード搭載の Microsoft Edge への Z 移行するためのリソースが揃っています。

概要

- このキットで提供される各ツールの使い方 (概要ガイド)

担当者を募るためのリソース

- エグゼクティブの担当者向けメール 1 – エグゼクティブ (経営陣) への周知
- エグゼクティブの担当者向けメール 2 – その他の担当者の追加
- エグゼクティブの担当者向けメール 3 – エグゼクティブから全社への周知

エンドユーザーの移行をサポートするためのツール

- エンドユーザー向けメール 1 – Microsoft Edge への移行の周知
- エンドユーザー向けメール 2 – Microsoft Edge への移行の準備
- エンドユーザー向けメール 3 – Microsoft Edge への移行の完了後について

その他のリソース

- Microsoft Edge への移行に関するユーザーガイド
- Microsoft ブラウザーの使用状況レポート (参考用ガイド)
- 利用不可の Web サイトを IT チームに報告するためのガイド
- 利用不可の Web サイトの提出フォーム - Microsoft 365 フォーム
- Microsoft Edge の Total Economic Impact (総経済効果) 調査のインフォグラフィック

重要な日程

Microsoft が Internet Explorer 11 デスクトップアプリケーションのサービス提供の終了を発表

2021 年 5 月 19 日

Internet Explorer 11 での Microsoft 365 アプリとサービスのサポートが終了

2021 年 8 月 17 日

Internet Explorer 11 デスクトップアプリケーションのサービス提供が終了

2022 年 6 月 15 日

展開に向けて準備する



Microsoft Edge を初めて組織全体で展開する前に、次のステップを考慮してください。

初めて Microsoft Edge をセットアップする場合で、より細かいガイドが必要な場合は、新しい [Edge Advisor](#) (Microsoft 365 管理センターにあります) をご参照ください。

リマインダー: Microsoft Edge Legacy のサポートは、2021 年 3 月 9 日に終了しました。Microsoft Edge Legacy は削除され、Windows Update で Microsoft Edge に変わります。詳細については、[こちらのブログ](#)をご覧ください。

ステップ 1 既存のブラウザー環境およびブラウザーのニーズを評価する

現状のブラウザーの状態や、必要な前提条件についてを、時間をとって確認します。すべてのプロジェクト担当者の認識を一致させ、共通の展開結果に向けて足並みをそろえられるよう、目標を設定します。

ステップ 2 展開の方法を決定する

エンドユーザーの理想の状態を把握したら、Microsoft Edge をどのようにエンドユーザーに展開するかを決定します (役割ごと、またはサイトごと)。

注意: Microsoft Edge がすでにお使いのデバイスにインストールされている場合があります。その場合は、Microsoft Edge の設定と Internet Explorer モードのセットアップに焦点を当ててください。

ステップ 3 エンタープライズ サイト一覧のサイト検索を行うか、既存の一覧を更新します。

レガシ Web アプリケーションを使用しており、Internet Explorer モード (多くのお客様が該当します) を使用する予定がある場合は、追加のサイト検索が必要です。Microsoft 365 管理センターの [Internet Explorer モードの構成アシスタント](#) を使用して、新規一覧の作成、既存の一覧の更新、ニュートラル サイトの構成ができます。詳細については、6 ページをご覧ください。

ステップ 4 チャンネル戦略を選択する

複数のデバイスとチャンネルを含む展開戦略を検討しましょう。これにより、幅広い、安定した機能が確保しながら、プレビュービルドにおいて、新機能をテストできます。

ステップ 5 ポリシーを定義し、構成する

レガシ Web アプリのエンタープライズ サイト一覧を作成したら、展開するポリシーを特定し、構成を開始します。これにより、テストの開始時に、これらのポリシーを適用できます。

ステップ 6 アプリの互換性テストを行う

多くの組織では、コンプライアンスまたはリスク管理の観点から、アプリの互換性テストを実施し、アプリケーションを検証する必要があります。

ラボテスト: 一定の設定において、厳密に制御した環境下でアプリケーションを検証します。

パイロットテスト: ユーザー各自のデバイスで、限定した人数のユーザーの日々の業務環境下でアプリケーションを検証します。

ステップ 7 パイロットグループに Microsoft Edge を展開する

ポリシーを定義し、最初のアプリの互換性テストを行ったので、パイロットグループに展開する準備ができました。

ステップ 8 展開を検証する

パイロットの展開後、互換性、ポリシー設定、使いやすさ、新機能についてのフィードバックを集めます。

ステップ 9 変更管理プランを策定し、Microsoft Edge を広く展開する

パイロットで得られた結果に基づいて、展開プランを更新したら、Microsoft Edge をすべてのユーザーに展開する準備が整います。Microsoft Edge を最大限有効に活用するために、ユーザー向けの変更管理プランを検討しましょう。

ステップ 10 継続的な管理

Microsoft Edge では定期的にアップデートが行われるため、環境への変更点を把握するために、これらのステップを定期的に評価しましょう。そのために、一部のユーザーに Microsoft Edge Beta を使用してもらい、広く展開する前に、テストビルドを行ってもらうことをお勧めします。

詳細については、[こちらの展開を計画するにあたってのガイド](#)をご覧ください。

Internet Explorer モード



Microsoft Edge には、レガシ ブラウザーサポートが搭載されています。Internet Explorer (IE) モードと、サイトをエンタープライズ モード サイト一覧に追加して、セットアップする方法についてご紹介します。

IE モードとは?

Microsoft Edge の IE モードでは、組織で必要なサイトを 1 つのブラウザで簡単に使用できます。

Microsoft Edge は、統合された Chromium エンジンを使用して、最新のサイトをレンダリングし、Internet Explorer 11 の Trident (MSHTML) エンジンを使用して、IE モードでレガシ サイトをレンダリングします。

サイトが IE モードで読み込まれると、IE ログ インジケータがナビゲーションバーの左側に表示されます。IE ログをクリックして、詳細を確認できます。

サポート対象の機能

IE モードは、次の Internet Explorer の機能をサポートしています。

すべてのドキュメント モードおよびエンタープライズ モード、ActiveX コントロール (Java、Silverlight など)、ブラウザ ヘルパー オブジェクト、セキュリティ ゾーンの設定および保護モードに影響を与える Internet Explorer の設定およびグループ ポリシー、IE の F12 の開発者ツール (IEChooser で起動した場合)、および Microsoft Edge の拡張機能 (IE ページのコンテンツに直接作用する拡張機能はサポート対象外です)。

IE モードは、次の Internet Explorer の機能はサポートしていません。

Internet Explorer ツールバー、ナビゲーション メニューに影響を与える Internet Explorer 設定およびグループ ポリシー (検索エンジン、ホームページなど)、および IE11 と Microsoft Edge F12 開発者ツール。

IE モードは、macOS ではサポート対象外です。

もっと詳しく



IE モードと互換性については、こちらの動画をご覧ください。

Microsoft Edge の IE モードが最新およびレガシ ブラウザーニーズに応えることを弊社チームがご説明します。

[こちらのページ](#)から、OS/バージョンの条件と、IE モードの詳細についてご確認いただけます。

Internet Explorer モード



サイトをエンタープライズ モード サイト一覧に追加して、Internet Explorer (IE) モードをセットアップする方法についてご紹介します。

準備

Internet Explorer を使用しているユーザーはいますか？

はい → Microsoft Edge への移行を推進しましょう！

いいえ → Internet Explorer のサービス終了への準備が整っています！

Microsoft Edge はユーザーのデバイスにインストールされていますか？

はい → Microsoft Edge はインストール済みで、IE モードをセットアップする準備が整っています！

いいえ → [Edge Advisor](#) を使用するか、後続のページのガイダンスに従って、Microsoft Edge をインストールしてください。

開くために Internet Explorer が必要なレガシ Web サイトまたはアプリケーションがありますか？

はい → IE モードをセットアップして、ユーザーが Microsoft Edge からアクセスできるようにしましょう。

いいえ → IE モードをセットアップする必要はありません。

Internet Explorer または Microsoft Edge Legacy からのエンタープライズ モード サイト一覧をすでにお持ちですか？

はい → 既存のエンタープライズ モード サイト一覧を更新して、ニュートラル サイトを追加できます。ステップ 1 の「セットアップ」のセクションをご覧ください。

いいえ → IE Mode の構成アシスタントを使用して、エンタープライズ モード サイト一覧をセットアップします。

セットアップ

(ポリシーを介して) 特別に構成したサイトのみが IE モードを使用します。その他のサイトは、最新の Web サイトとしてレンダリングされます。サイトを IE モードで開くには、次のステップを参照してください。

ステップ 1: エンタープライズ モード サイト一覧を作成するか、既存の一覧を更新します。

Microsoft Edge は、エンタープライズ モード サイト一覧を使用して、IE モードでサイトを開きます。

エンタープライズ モード サイト一覧を作成し、ニュートラル サイトを構成するには、[こちらの記事](#)を読むか、[IE モードの構成ツール](#)を使用してください。

既存のエンタープライズ モード サイト一覧を更新し、ニュートラル サイトを構成するには、[こちらの記事](#)を読むか、[IE モードの構成ツール](#)を使用してください。

ステップ 2: IE モードを構成します。

グループ ポリシーを使用して、IE モードを構成します。

Microsoft Edge の IE モードでエンタープライズ モード サイト一覧のサイトを開くには、Internet Explorer または Microsoft Edge のポリシーを構成する必要があります。

グループ ポリシーの構成方法について詳しくは、[こちらのページ](#)をご覧ください。

- ポリシーを介して、IE モードですべてのイントラネットサイトを開くよう構成することも可能ですが、エンタープライズ モード サイト一覧を使用する方法をお勧めします。
- また、ポリシーが Internet Explorer ブラウザーで開いたサイトを Microsoft Edge で開くようリダイレクトできるようにすることを推奨します。このポリシーについての詳細は、「[IE モードのポリシーを構成する](#)」を参照してください。

参考用の動画



Internet Explorer モードを含む、Microsoft Edge の設定方法に関する、実践型のツアーをご用意しています。

Microsoft Edge は、ビジネス向けの最適なブラウザとなるよう設計されており、レガシ ブラウザサポートを搭載しています。ホストのジェレミー・チャップマンがエンタープライズ モード サイト一覧のスキーマ (v.2) を使って、エンタープライズ モード サイト一覧を作成する方法と、IE モードのグループ ポリシーで構成する方法について紹介します。残りの動画を視聴して、Microsoft Edge のセキュリティと管理における推奨事項をご確認ください。

[こちらのページ](#)から、OS/バージョンの条件と、IE モードの詳細についてご確認いただけます。

展開とアップデート



展開プランの各ステップが完了したら、Windows と macOS で Microsoft Edge を展開する複数の方法があります。

Windows 10

オプション 1: 構成マネージャーで展開する

注意: すでに Microsoft Edge を展開されている場合は、このステップをスキップしてください。

ステップ 1

新しい「Microsoft Edge の管理」ノードを使用して、コンソールで展開を作成します。ここでは、新規アプリケーションを作成できます。アプリのコンテンツの名前、説明、および場所を指定します。展開するチャンネルとバージョンを選択します。完了後は、正しく展開できていることをテストして確認します。

ステップ 2

展開後は、ブラウザーのアップデートが利用可能になると、構成マネージャーに表示されます。

ステップ 3

展開の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。

オプション 2: Microsoft Intune で展開する

ステップ 1

Windows 10 RS2 以上がインストールされていることを確認してください。

ステップ 2

Microsoft Intune でアプリを構成します。

ステップ 3

アプリの情報と設定を構成し、スコープ タグを選択します (オプション)。

ステップ 4

アプリを追加して、トラブルシューティングを行います。

ステップ 5

展開の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。

動画はこちら



Microsoft Edge をお使いのデバイスに展開する方法に関する、実践型のツアー実践型のツアーです。

自動インストールのための Microsoft Edge パッケージオプション、MECM (Microsoft エンドポイント 構成マネージャー) を使用して Microsoft Edge を Windows PC に展開する方法、スマートフォンと Mac を含む、すべてのマネージドデバイスを Microsoft Edge でプロビジョニングする方法をご確認ください。

macOS

macOS に展開する場合: JamF を介した展開の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。Microsoft Intune を介した展開の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。



Microsoft Edge は、Windows と macOS の両方で構成可能です。

Windows 10

オプション 1: デフォルトの構成

ステップ 1

Microsoft Edge 管理者テンプレートをダウンロードして、インストールします。

ステップ 2

テンプレートを Azure Active Directory と個々のコンピュータに追加します。

ステップ 3

グループ ポリシー エディターを使用して、Active Directory と個々のコンピュータの両方に、必須および推奨ポリシーを設定します。

ステップ 4

構成の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。

オプション 2: Microsoft Intune で構成する

ステップ 1

プロファイルを設定して、管理者テンプレートで設定を管理できるようにします。

ステップ 2

構成の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。

オプション 3: モバイル デバイス管理で構成する

Windows 10 の場合、お好きなエンタープライズ モビリティ管理 (EMM) の MDM を使用して、または、[ADMX Ingestion](#) をサポートする MDM プロバイダーを介して構成できます。

ステップ 1

Microsoft Edge ADMX ファイルを EMM または MDM プロバイダーにインジェストします。ADMX ファイルのインジェスト方法については、プロバイダーにお問い合わせください。

ステップ 2

Microsoft Edge ポリシーの OMA-URI を作成します。

ステップ 3

構成の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。

Microsoft Edge を Windows (ドメイン参加済みデバイス、または Azure Active Directory 参加済みデバイス) および macOS のデフォルトのブラウザーとして設定することもできます。

構成の詳細なステップは、[こちら](#)をご確認ください。

Microsoft Edge では、Bing の Microsoft Search でファイル、サイトや連絡先をすぐに検索できます。

Microsoft Search のセットアップ方法は、[こちら](#)をご覧ください。もしくは、[Microsoft Mechanics の動画](#)をご視聴ください。

macOS

macOS での展開方法については、[こちら](#)で詳しいステップをご紹介します。



サポート

Microsoft Edge または IE モードの展開、または構成でサポートが必要ですか? [FastTrack](#) までお問い合わせください。

FastTrack は、有料の Windows 10 ライセンスを 150 以上導入されているお客様に、無料でご利用いただけるサービスです。ご利用いただくには、こちらの [FastTrack サイト](#) から、アシスタンスのリクエストを送信してください。

互換性について、サポートが必要ですか? ご不明な点がありますか? [App Assure](#) までお問い合わせください。

Internet Explorer から Microsoft Edge への移行において、互換性に関する問題が生じた場合に備え、App Assure プログラムをご用意しています。App Assure は次を約束します。お使いの Web アプリおよびサイトが Internet Explorer 11、サポート対象の Google Chrome、その他いずれかのバージョンの Microsoft Edge (Microsoft Edge Legacy を含む) で正常に機能している場合、その Web アプリとサイトは Microsoft Edge でも正常に機能するはず。問題が生じた場合は、[アシスタンスをリクエスト](#)するか、メールを送信 (ACHELP@microsoft.com) していただければ、追加費用なしで復旧サポートをご提供いたします。App Assure および Microsoft Edge について詳しくは、こちらの [ブログ](#) をご覧ください。

サポートを受けるためのその他の方法

Premier サポートや統合サポート、ビジネス向けサポートなど、その他のサポートサービスをご利用するには、[Microsoft Services Hub にサインイン](#)して、サポートをリクエストしてください。

技術文書については、[Microsoft Edge Docs サイト](#) でご覧いただけます。

参考用のポリシー

Microsoft Edge には、組織内での使用方法をカスタマイズするための、250 以上のポリシーのライブラリが付属しています。

コンテンツの設定、拡張機能、HTTP 認証、パスワード管理と保護、ブラウザーアップデート、ネイティブメッセージングなど、幅広い機能が含まれています。

- 利用可能なブラウザー ポリシーは、[こちら](#) からご確認ください。
- 利用可能なアップデート ポリシーは、[こちら](#) からご確認ください。

Microsoft セキュリティ

Microsoft Edge は、包括的なセキュリティを提供し、オフィスでもリモートワークでも、組織のユーザーとデータを保護します。Microsoft Edge のセキュリティ機能について詳しくは、以下をご覧ください。

- [Windows 情報保護](#) について (Windows 10)
- [Microsoft Defender Application Guard](#) について (Windows 10)
- [Microsoft Defender SmartScreen](#) について
- [セキュリティ ベースライン](#) について (Windows 10 および Windows サーバーのみ)

ありがとうございます



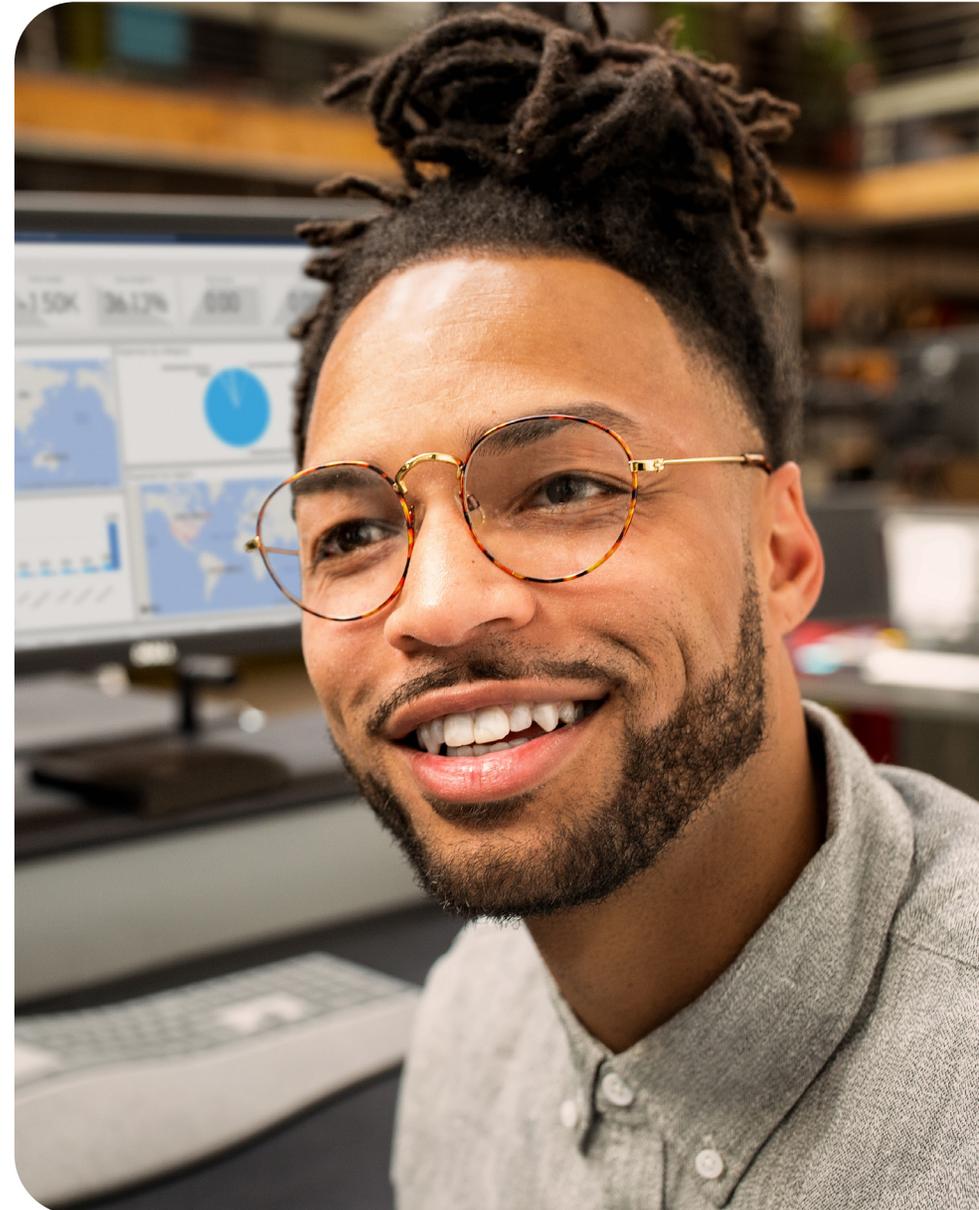
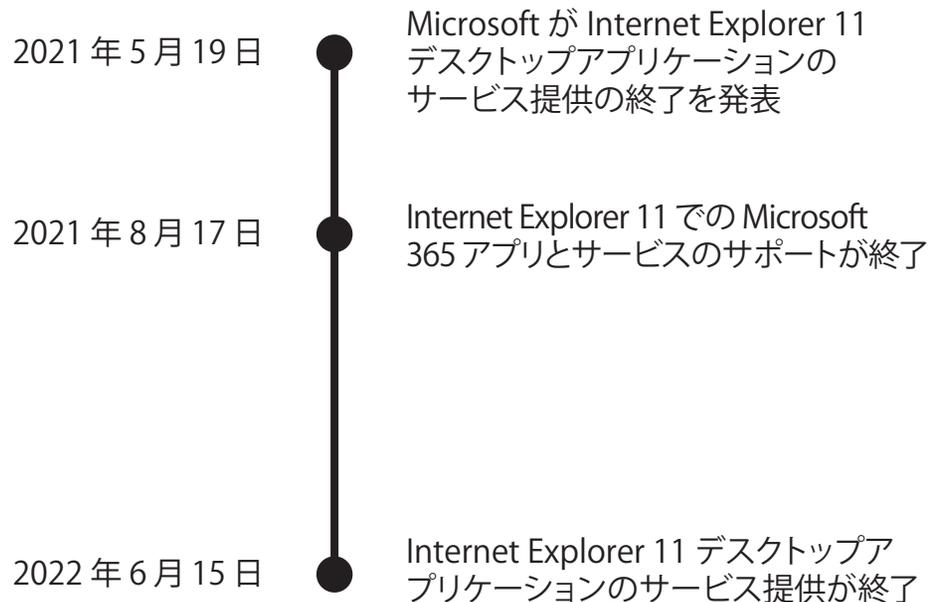
Microsoft Edge を展開していただきありがとうございます! Internet Explorer モードについて、次をご参考にしてください。

- [Internet Explorer のサービス終了と Internet Explorer モードについてのブログ記事](#)
- [Internet Explorer モードについての Web サイト](#)
- [Internet Explorer モードについてよくあるご質問](#)

エンドユーザーの移行にご活用ください。

- Microsoft Edge の[ユーザーのための機能の Web サイト](#)
- [IE サービス終了準備キット \(メール、ガイド、テンプレートなど\)](#)

Internet Explorer のサービス終了に関するスケジュールをご確認ください。





付録

チャンネルの概要



Microsoft Edge チャンネルは、Windows、Windows Server、および macOS のサポート対象のすべてのバージョンで利用できます。モバイル向けのバージョンは、iOS と Android デバイスでご利用いただけます。

安定チャンネル



ほとんどのデバイスへの広い展開に最適なリリース。
完全なエンタープライズサポート。

最も安定したブラウザーのバージョンで、会社全体での広い展開のための一般提供です。前ビルドからのフィードバックを反映させた、メジャーアップデートが 6 週間ごとに実施されます。

プレビュー チャンネル

新しいビルドや機能をテストする機会を得て、Microsoft にフィードバックを共有してください。



最も安定したプレビュー体験を提供。完全な
エンタープライズサポート。

各リリースにおいて、Dev (毎週) と Canary (毎日) のビルドからのフィードバックを反映させます。6 週間ごとにメジャーアップデートを実施します。一部のユーザーにこのチャンネルを使用してもらい、すぐにリリース可能な安定チャンネルに移行する前に、現在の環境下でビルドをテストすることを推奨します。



Dev ビルドには、毎週の改善が最も反映されており、
新機能をいち早く評価することもできます。

学習用と計画用に Dev チャンネルを使用することをお勧めします。これらのビルドは、Microsoft Edge チームがテストを行っており、通常 Canary のものよりも安定しています。

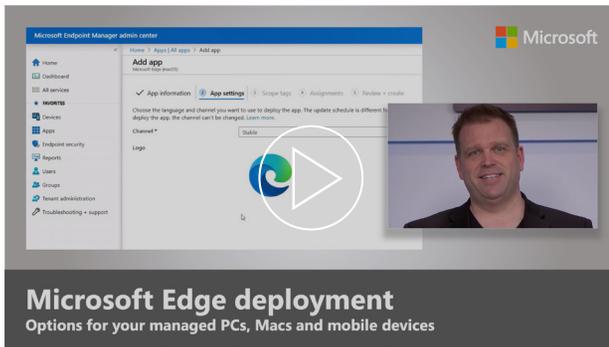
お好みのチャンネルを[こちら](#)からダウンロードしてください。

Microsoft Mechanics の動画シリーズ



Microsoft Edge の展開方法、Internet Explorer モードのセットアップ方法、ポリシーの構成方法、Microsoft Edge プレイリストでの Microsoft Search のセットアップ方法をご紹介します。

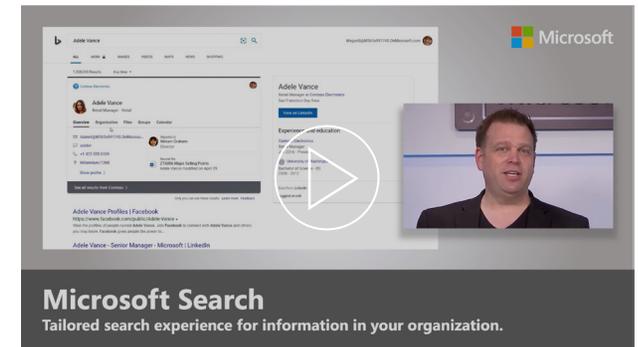
展開



構成



Microsoft Search



Microsoft Edge をお使いのデバイスに展開する方法に関する、実践型のツアー-実践型のツアーです。

自動インストールのための Edge パッケージオプション、MECM (Microsoft エンドポイント 構成マネージャー) を使用して Edge を Windows PC に展開する方法、スマートフォンと Mac を含む、すべてのマネージドデバイスが Edge でプロビジョニングする方法をご確認ください。

新しい Microsoft Edge のセキュリティ、互換性、管理の容易さに関する、実践型のツアーです。

Chromium をベースとした Microsoft Edge は、ビジネス向けの最適なブラウザとなるよう設計されています。ホストのジェレミー・チャップマンが他のブラウザにはない Edge の強みをご紹介します。

社内での情報検索のために最適化された Microsoft Search に関する、実践型のツアーです。

連絡先、ファイル、組織図、サイト、よくある質問への答えをすぐに見つけることができます。仕組み、簡単なセットアップ方法、ユーザーが効率的に情報を見つけるための高度な機能をご覧ください。

これらの3つの動画を含んだ [YouTube のプレイリスト](#) をご覧ください。